

防災落語「天使の産声」（概要メモ）

講演「たっぷり笑ってしっかり共助」（概要メモ）

講師：三遊亭 京楽師匠 落語家（三遊亭円楽一門真打）

防災落語「天使の産声」、「たっぷり笑ってしっかり共助」として講演が行われました。講演の内容は落語を用いた真に迫る震災時の出産状況紹介がなされ、その後、人形を用いたわかりやすい救急救命法の実演が併せ行われました。以下に、その概要を紹介します。

1. 防災落語「天使の産声」

東灘の産婦人科医院を舞台にして、阪神淡路大震災当日、電気、水、医療物資が不足する中で、妊婦が急患で運ばれ、真っ暗闇の中に3本の懐中電灯を頼りに手術を行い、赤ちゃんが無事に生まれた経過を題材にしたもので、落語特有の笑い、また、感動の涙を誘う迫真の演技が印象的でした。この中で、無事に出産ができたのは、被災者が協力して共に助け合う「共助」であること、その重要性が訴えられていました。

2. 「たっぷり笑ってしっかり共助」

心臓が停止して道路に倒れた時の救助方法について、人形を使って人工呼吸の仕方についての実技指導がありました。救助に際しては、周囲の状況を確認すること、出血状況を確認すること、意識の確認をすること等を行い、周囲にいる人に対して、救急車とAED（自動体外式除細動器）の手配を依頼してから人工呼吸による救助を行ってくださいとの説明がありました。また、できるだけ多くの方が習得して、実際の救助に役立ててくださいとの要望がなされました。